

果実に被害を与える害虫

⑭ イッシキブドウトリバ



7月下旬～9月上旬にかけて、果粒の基部付近から食入し果肉や子実を食害する(写真左)。被害果粒は紫黒色に変色し、脱粒するケースが多いが、脱粒を免れても灰色かび病や灰星病を誘発することが多い。

(写真中央は蛹、左は成虫)

⑮ スズメバチ類



7月以降に園地内で見かけるようになるが、ぶどうへの加害は果房が成熟して以降。

樹上の腐敗果などに誘引され、周囲の健全熟果をも食害する。